

消化器外科

の紹介

2017年版

☑ 専門性の高い安全な手術を行っており、**治療成績は全国トップクラス**です。

胃癌、大腸癌、食道癌、膵癌、肝臓癌、胆道癌のほか、**肉腫などの希少癌**の手術も経験豊富です

☑ 消化器外科の医師は、全員、**日本外科学会専門医・指導医**以上の資格、手術経験を有しており、あらゆる手術、いかなる状況にも対応可能です

がんの手術はどこで受けても同じと思っていませんか？

答えはもちろん**NO**です

ちがいを一言で言うと、**手術の精度と安全性**です
少し詳しく説明しましょう

手術の精度……

同じ癌の手術といっても、**リンパ節郭清範囲や癌との切除距離**の確保をきちんとやるかどうかで、癌の再発率は大きく変わってきます。

右の写真は大腸癌の腹腔鏡手術の写真ですが、大きな血管のまわりのリンパ節までしっかり切除されていることがわかります。(もしこのようなリンパ節郭清をきちんとしない手術を受けた場合は、再発率が増えることになります)

北海道がんセンターでは、

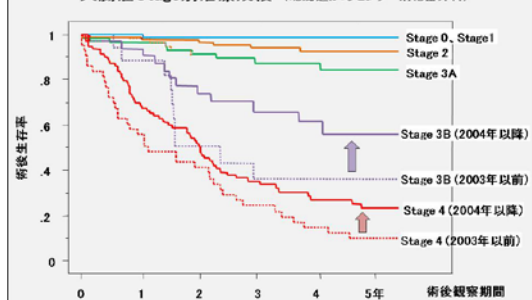
手術の精度の向上と、術後補助化学療法の適切な施行により、各ステージ毎の治療成績は著明の向上しています。

さらに遠隔転移があるStage4大腸癌においても、化学療法のみならず、転移病変(肝転移、肺転移など)の切除を行うことにより、20%以上の方が長期生存しています。(転移切除を行わない場合は5%以下)

腹腔鏡下大腸癌手術でのリンパ節郭清



大腸癌Stage別治療成績 (北海道がんセンター消化器外科)



手術の安全性ですが………当院では必ず**麻酔科担当医と外科専門医2名以上**で手術しています(当たり前ですが、これをしていない病院がたくさんあるのです)

当院の場合にはさらに助手にも術者の資格がある外科医がはいっており、飛行機の運航にたとえるとダブルパイロットの安全性を常時維持しています



ダブルパイロット………国賓などのVIPの飛行の時などに、通常の機長+副操縦士の体制ではなく、機長の資格をもつ人が2名で操縦すること



消化器外科専門医が必ず2名入る
北海道がんセンターの消化器外科手術

癌を安全に切除するために……

それぞれの患者さんの癌の状況(大きさ、ステージ、癒着)によって、

開腹手術、腹腔鏡手術を選択しています

北海道がんセンターでは、腹腔鏡手術はただ単にキズを小さくする目的ではなく、拡大視効果による手術清度の向上に寄与すると考えています
大腸癌では約80%の方が腹腔鏡で手術を受けています

胃癌ではより安全で精度の高い手術を実現するため、

ロボット補助下胃癌手術を開始しています

ロボットといっても、機械が勝手に手術するのではなく、術者がおこなう手術操作を腹腔内で正確に再現する腹腔鏡手術装置で手振れ防止機構や3D画像等により、さらに精度の高い手術が期待されます。

現在は臨床試験としておこなっておりますので、**最新鋭の手術を御希望の方は是非御連絡ください**

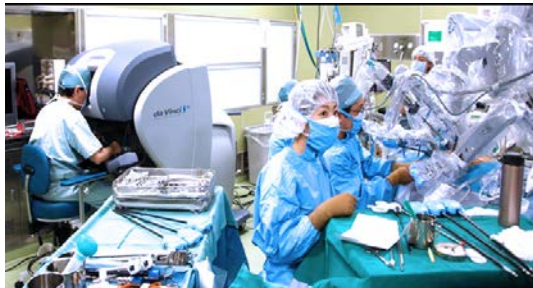
開腹手術



腹腔鏡手術



ロボット手術



北海道がんセンター消化器外科スタッフ紹介

●●●●● 全員が消化器外科専門医取得しています！



濱田朋倫



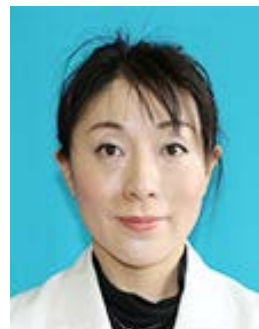
篠原敏樹



前田好章



砂原正男



皆川のぞみ